

会社概要 & 中期経営計画



2020年2月15日

株式会社ウェザーニューズ 代表取締役社長 草開千仁



会社概要

- WNIの原点
- 会社概要
- 海外拠点
- WNIのこれまでの歴史
- 44市場に展開するサービス

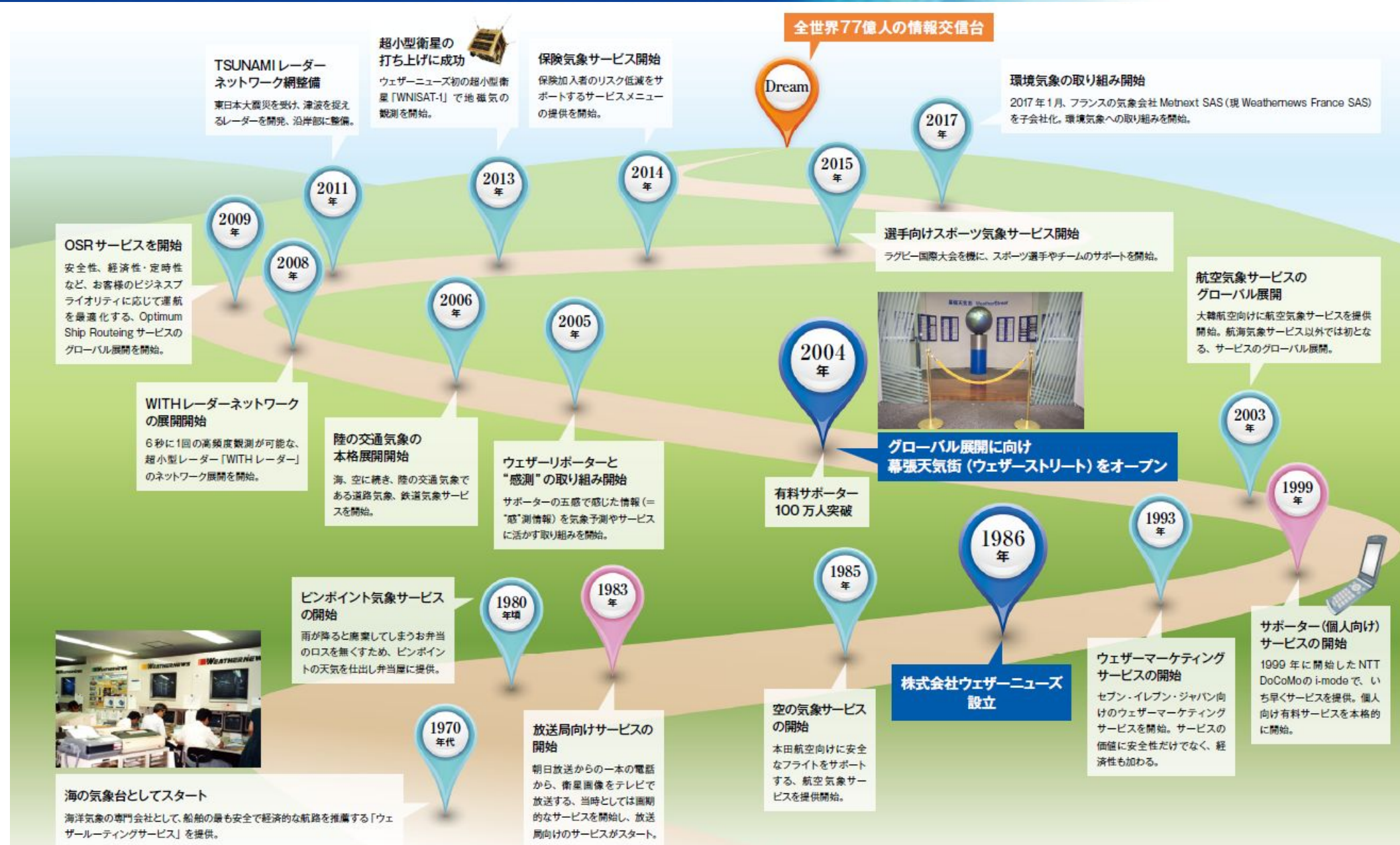
「船乗りの命を守りたい」



1970年1月

福島県小名浜港を
爆弾低気圧が直撃。

入港中の大型貨物船が沈没し、
15名の船員の命が失われた。





創業

1986年6月

上場市場

東証一部

グローバルセンター

千葉市幕張

代表者

草開 千仁(くさびらき ちひと)

資本金

17億6百万円

連結売上高

170億5200万円 (2019年5月末現在)

社員数

1036人(海外146人) (2019年11月末現在)

拠点数

21カ国32拠点 (国内:11拠点/運営:7拠点) (2019年11月末現在)

パリセンター



アムステルダムセンター



コペンハーゲンセンター



グローバルセンター



オクラホマセンター



ヤンゴン
オペレーションセンター



マニラ
オペレーションセンター



Sea Planning



航海気象



石油気象



海上気象



水産気象



物流気象

Sky Planning



航空気象



放送気象

Land Planning



道路気象



鉄道気象



輸送気象



施設気象



防災気象



建設気象



イベント気象



河川気象



通信気象



工場気象



保険気象



動気候



地象



空気気象

Mobile/Internet Planning



モバイル



My Weather Station



山岳気象



トラベル気象



健康気象



植物気象



童理気象



栽培気象



減災



星空気象



写真気象



宇宙天気

Environment Planning



流通気象



農業気象



エネルギー
気象



ダム気象

Sports Planning



スポーツ
祭典気象



サッカー気象



スポーツ気象



野球気象



モーター
スポーツ
気象



スカイ
スポーツ
気象



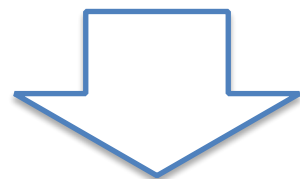
ボート気象

WNIの独自性と市場展開

- ・気象庁との違い
- ・主要サービス(BtoB / BtoS)
- ・How Wonderfulから入ろう
- ・ウェザーニューズの夢

ウェザーニューズ

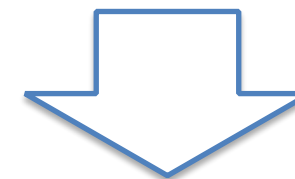
「あなたの気象台」
「あなたの情報交信台」



対応策情報
＝費用対効果

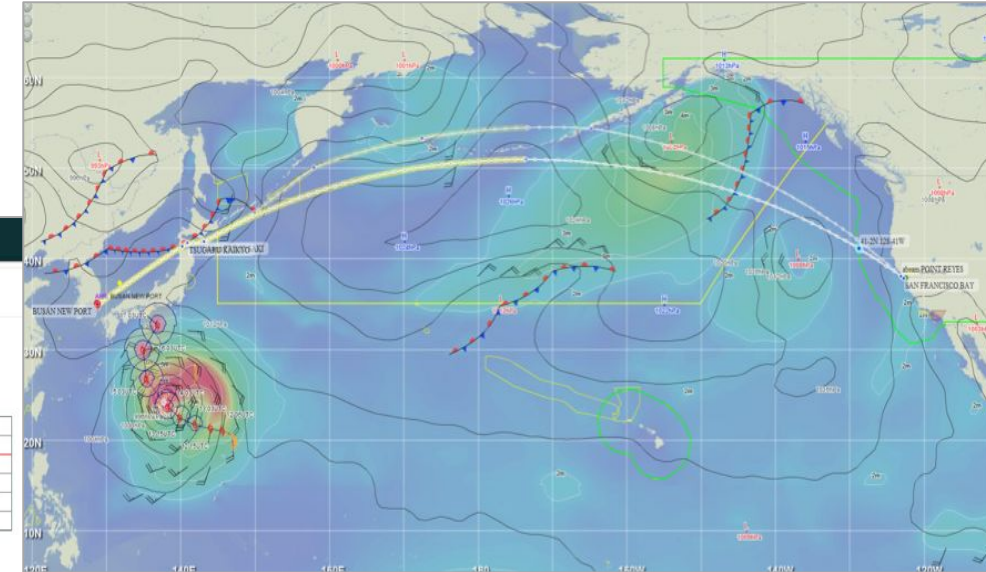
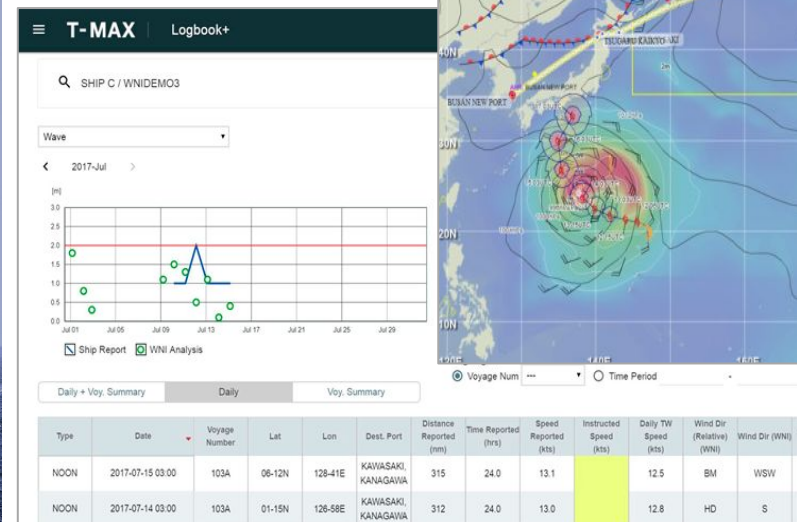
気象庁

「みんなの気象台」



天気予報
＝注意報・警報
(国民の安心・安全)

3極運営で世界の約7,000隻の船をモニタリング



OSR(Optimum Ship Routeing)

- ・安全運航のための支援や燃料などコスト面での最適化

エネルギーの需要・供給の最適化のサポート



廃棄ロス最小化による利益最大化のサポート



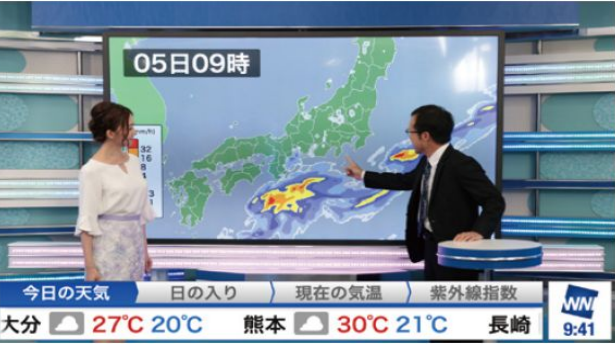
需要・発電量想定サービス

- ・消費電力量の推定と、発電施設の稼働及び発電量の推定

商機拡大支援サービス

- ・発注者へ気候変動による販売機会の増加を通知し、売上・利益の増加に貢献

ウェザーニュースLIVE



自社アプリ (ウェザーニュース) コラボ広告 (富士フィルム様)



Mobile / Internet Planning

サポーターと一緒に“天気”を創り、感動を共有する場を創造

Broadcast Planning

TV・ラジオ局のニュースや気象コーナーをサポート

Planning (市場)	BtoB 主要サービスの内容
Mobile / Internet (モバイル・インターネット)	自社アプリ『ウェザーニュース』・広告事業 ・アプリ課金 ・アプリ内のバナー広告や企業とのコラボ広告
Broadcast (放送)	キャスター派遣サービス・気象データ提供サービス ・放送局へのキャスター派遣、および番組への出演サービス ・データ放送など、テレビ局など各種メディアで放送する気象データの提供

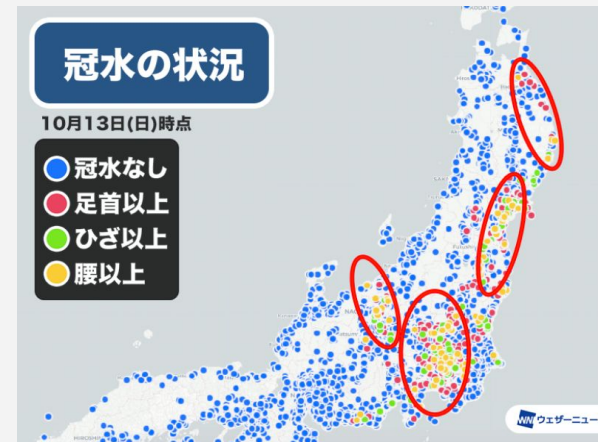
◆災害時 特設サイトの設置

- ・河川水位情報
- ・土砂災害危険度マップ
- ・現地からの被害報告
- ・防災に関するニュース記事

◆サポーターとの価値創造

『#減災リポート』をTwitterに投稿することで、
被害状況をマップにプロット（Twiter社との連携）

➡ **WNI実況値とリポーターから寄せられる現地の
情報を掛け合わせ、より詳細かつリアルタイムに
被害情報の共有を実現**



▼2018年7月 西日本豪雨時に寄せられたレポート



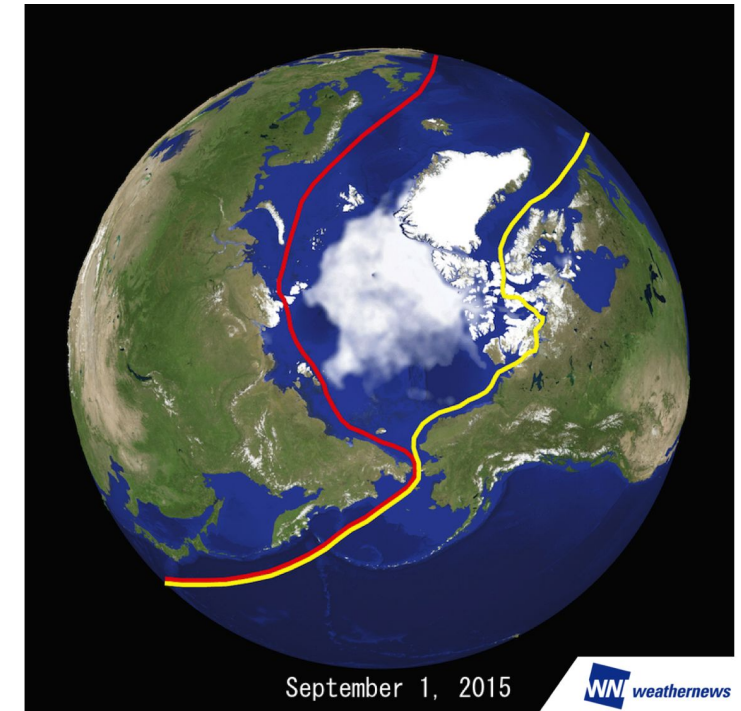
How muchの前に

“How Wonderful” から始めよう

まず、楽しいことをやろう
(常識にとらわれない価値創造)

楽しい仲間とやろう
(業界を代表する想いのあるお客様と共創)

3年以内にはビジネスとしての見通しを立てよう



通常の航路より2/3から半分程度の距離と燃料消費量になる。
実現できれば、
どんなに素晴らしい(How Wonderful!)だろう！

How Wonderful!

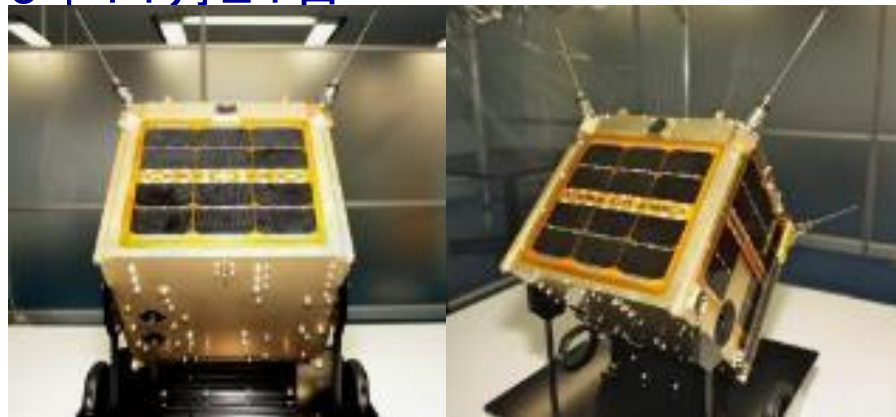
大きなメリットがある**北極海航路**を利用したい

でも観測情報は少ないし、
自分たちだけでは難しい...

無常識

民間初商用の超小型衛星打ち上げ

2013年11月21日



共創

衛星はベンチャーと組み、
サービスは海運会社と一緒に創造



Polar Routeing (北極海航路) サービススタート

第四成長期へ

77億人の情報交信台

1986年創業

1986～1995年
第一成長期：
市場の成長性

1996～2003年
第二成長期：
ビジネスモデルの多様性

2004～2011年
第三成長期：健全性

2012年～2022年
第四成長期：革新性

中期経営計画について

- 中期Vision
- 重点施策(4つの柱)
 - 既存市場のGlobal展開 & モバイル成長計画
 - 予報精度No.1・コンテンツ化による生産性向上
 - クラウド展開
 - 新規事業
- 3か年業績見通し
- 株主還元(配当計画)
- ESGへの取り組み

中期Vision(2012年からの10年間)

これまで

現在

これから

Stage 1

2012年6月▶2016年5月

Stage 2

2016年6月▶2019年5月

Stage 3

2019年6月▶2022年5月

第四成長期
ビジョン

Service & Infrastructure Company with the Supporters

交通気象と Environment Weather を軸に、無常識な気象観測と感測をもとにして、Global でのマーケットを立ち上げる

WNIの
ミッション

Full Service Weather Company

データサービスから RC など全ての気象情報に関するサービスを提供する世界最大の気象情報会社

Full Service "Weather
& Climate" Company

スローガン

"Establish Symbolic
Global Service"

重点事業に注力し、Global で展開する
シンボリックなサービスメニューと Asia 販売体制

"Accelerate
the Global Business"

交通気象の Global 展開、Global Business 加速
に向けたビジネス・インフラ投資

Global Business
(BtoB 50:50)

BtoB市場において
国内・海外売上を 50:50 に

重点
施策

ビジネス
展開

交通気象

交通気象+環境気象

既存事業の
継続成長による収益基盤の強化

Global 販売体制確立

EU・US 展開の本格化

新規発展事業の創出

インフラ
展開

ウェザーリポーターネットワーク
Global 展開

事業展開を加速するコラボ

世界最高品質の予報精度・
コンテンツ生産力の飛躍的向上

基幹インフラのバージョンアップ

革新的な気象インフラのデザイン

革新的な気象インフラの開発

マーケットを加速する
IT サービス基盤の整備

第四成長期
Stage3

Global Business (BtoB 50:50)

BtoB市場において国内・海外売上を50:50に

市場展開

- 1 交通気象・環境気象のグローバル展開
- 2 予報精度No.1 & コンテンツ化による生産性向上
- 3 マーケットを後押しするクラウド展開
- 4 気候変動に対応した新規事業

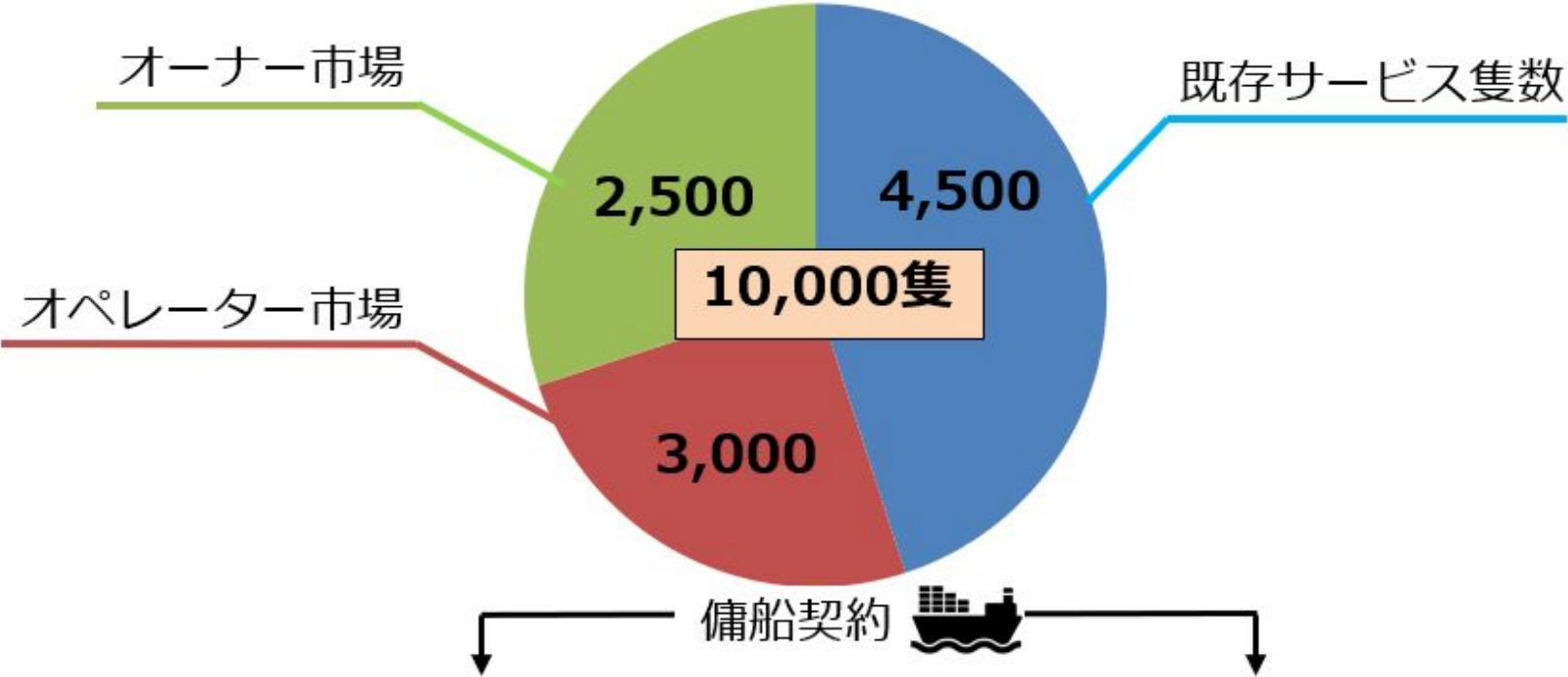
経営基盤

- 1 事業を通じた持続可能な社会への貢献（ESG 投資）
- 2 働きがい向上（アントレプレナーシップの活性）

①既存市場のGlobal展開&成長計画

収益基盤を強化と売上の継続成長を目指して、既存事業のGlobal展開や国内でのシェアNo.1を実現

◆Global展開									
市場(Planning)	主力サービス	対象エリア				KPI	FY33末	FY34末	FY36末
		JP	Asia	EU	US				
Sea（航海）	・OSR (Optimum Ship Routeing) ・NAR (Navigation Assesment & Routeing)	○	○	○	○	サービス提供隻数（隻数）	4,500	6,000	10,000
Sky（航空）	・En-Route Optimization Support ・Go or No-Go Decision Support	○	○	○		航空会社数（単位：社）	51	57	80
Environment（環境）	・需要想定サービス	○		○		Symbolic顧客数（単位：社）	4	8	29
◆日本No.1プラットフォームの実現									
Mobile/Internet	・アプリ(ウェザーニュース)少額課金 ・広告ビジネス	○				MAU*（単位：万人） *1ヶ月の間に1回以上WNIのWebサイトやアプリなどを利用した人数	2,610	2,950	3,795



	オーナー (船主) 市場	オペレーター (海運会社) 市場
基本価値	安全性	経済性
ポテンシャル	30,000隻	20,000隻 (一部はオーナー市場と重複)
重点エリア	主に日本・ギリシャ	グローバル (アジア・EU・日本・US)
主力サービス	Navigation Assessment & Routeing (NAR)	Optimum Ship Routeing (OSR)

②世界最高品質の予報精度の追求

世界最大規模の気象／気候Database および独自 AI 解析により世界 No.1 の予報精度の実現



新たな基幹 Database・開発 Platform および独自 AI 技術を用いたコンテンツ生産力の向上

予報



各市場向け予測値生成の
生産力・キャパシティUP

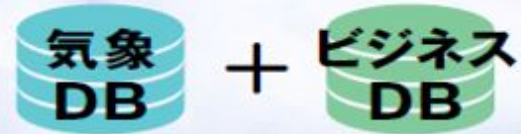
Risk Communication



Risk Communicationの
生産力・キャパシティUP

③マーケットを加速するITサービス基盤の整備

世界最大の気象データベースを活用した、気象リスク分析によるサービス構築・展開を迅速に実施できる Cloud を活用した IT サービス基盤を構築する。



Cloud Solution (Weather as a Service)



Government, Business, small b, Consumer ... etc

全世界、76億人へのサービス

④新規発展事業の創出

既存のサービス

= 短期・中期の気象リスクが対象

・運用リスクの対応策情報を提供



新しいサービス

= 中長期の気候リスクが対象

・気候リスクを評価、適応策を提案

◆気候リスク対応策サービスの例

顧客の課題

- ・気象災害発生リスクと需要変化の把握
- ・サプライチェーン企業間の
情報提供と対応策の実施判断



適応策支援

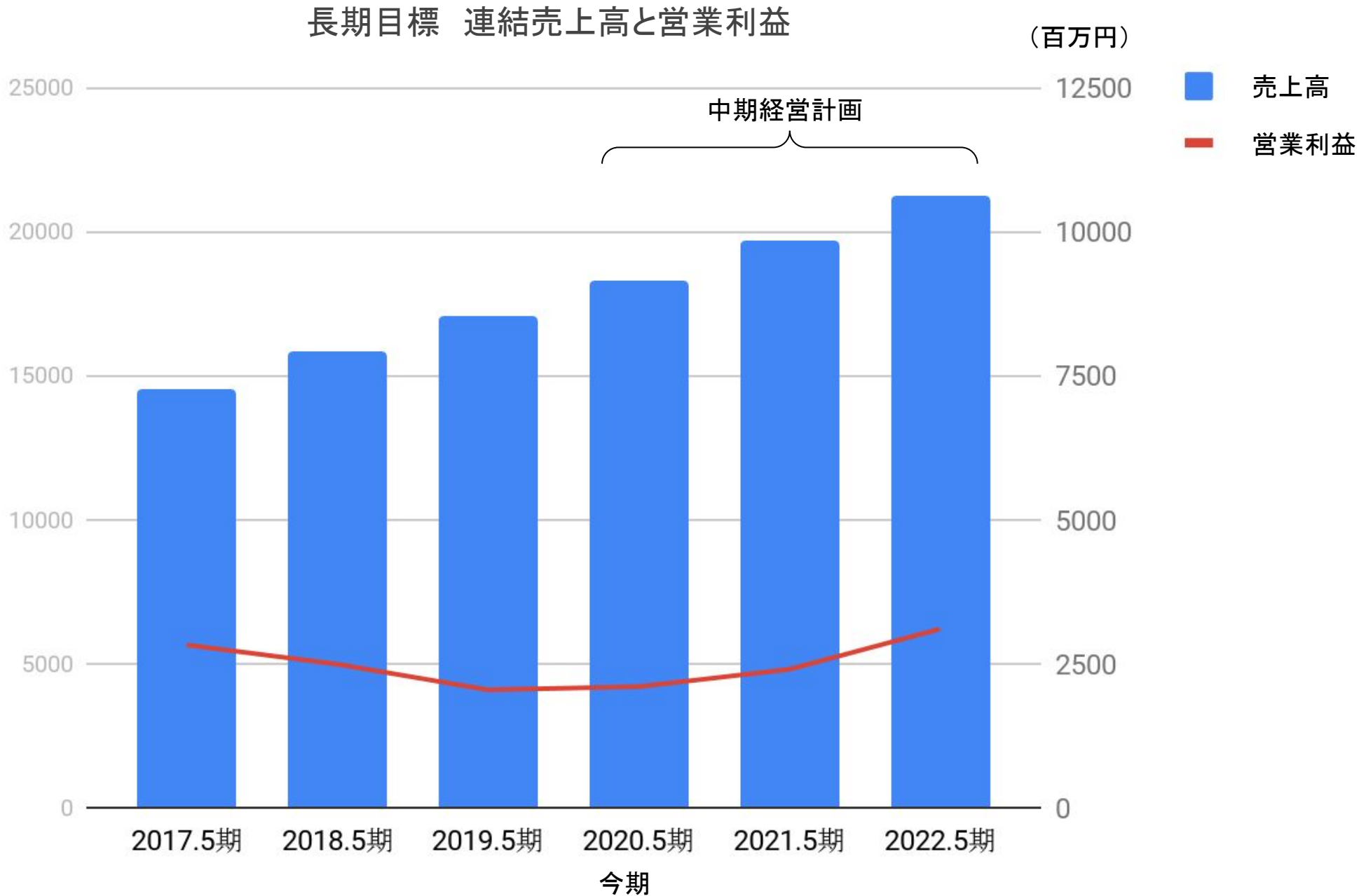
- ・事業に関する気候・気象の影響度と頻度の分析と評価
- ・計画配送・生産による
サプライチェーンリスクへの適応策



リスク特定・分析・評価

対応策・適応策の策定





方針

「高貢献、高収益、高分配」の基本理念の下、TGビジネスが継続的に成長していることから、期初計画の1株あたり年間配当金基準100円を据え置き、中間配当を50円とします。

直近の配当実績

	中間配当	期末配当	合計(年間)
2017.5期	35円	65円	100円
2018.5期	50円	50円	100円
2019.5期	50円	50円	100円
2020.5期	50円	(予想) 50円	(予想) 100円

E (Environment / 環境)

- ⇒ サービスを通じた環境への貢献度の定量的な開示
サポーターの皆様とともに地球の現在を「測る・知る・参加する」

S (Social / 社会)

- ⇒ 環境・気象と向き合うGlobal人財が持続的に参加・活躍可能な仕組みづくり

G (Governance / 企業統治)

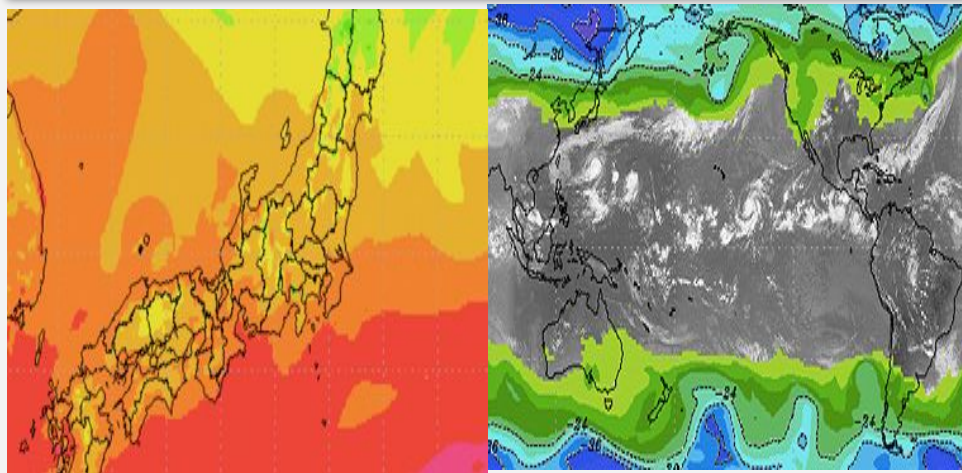
- ⇒ 公共の情報インフラである気象情報を提供する企業としての事業継続性の担保

Environment / 環境

- ・サービスを通じた環境への貢献度の定量的な開示
- ・企業 / 個人サポーターの皆様とともに地球の現在を「測る・知る・参加する」

■企業活動による環境負荷の低減 (BtoBサポーターとの共創)

サポーターとともに環境DBを構築、公開



CO2排出削減量 / 地球温暖化 /
海面上昇 / 食品廃棄ロス削減量 etc

航海気象サービスを通じたCO2排出量削減

→ 2018年度は**276万トン**のCO2を削減



他社との協業 (Weathernews × chaintope)

CO2排出削減量を客観的に評価する新サービス
「マリンカーボンブロッキング」の共同研究を開始



Social / 社会

→環境・気象と向き合うGlobal人材が持続的に事業参加・活躍可能な仕組みづくり

個が持つ力・強みの最大化

ライフステージに対応する働き方

Rain Kids House(企業内保育園)



新たな仲間との出会い・
シナジー創出

多様な人材登用と人材開発支援

Global人材の積極採用

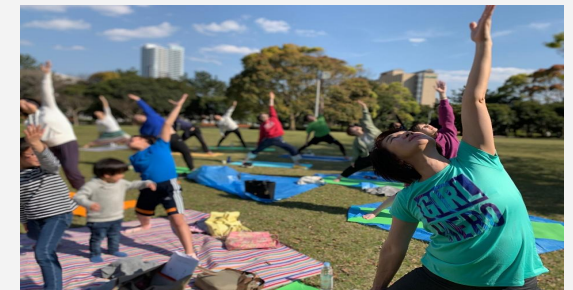


会社とスタッフの
エンゲージメント強化

健康経営(心と体の健康)

Pit-In Spot

元気・健康に仕事に取り組む機会作り



Governance / 企業統治

⇒ 公共の情報インフラである気象情報を提供する企業としての事業継続性の担保

重要コンセプト

自立

正しい判断・行動を
ガイド・後押しする仕組み

自律

会社・従業員同士が相互信頼のもと
律し合う仕組み

取締役・監査役による「経営の実効性と公正性・透明性」の担保

具体施策

倫理行動規範の策定や
BCP (バックアップセンター訓練)
などの定期実施

コンプライアンスに関する
課題の把握や対応策の策定を行う
会議体の設置

コーポレートサイト での情報開示



